

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年3月) —6%台での推移が続く

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

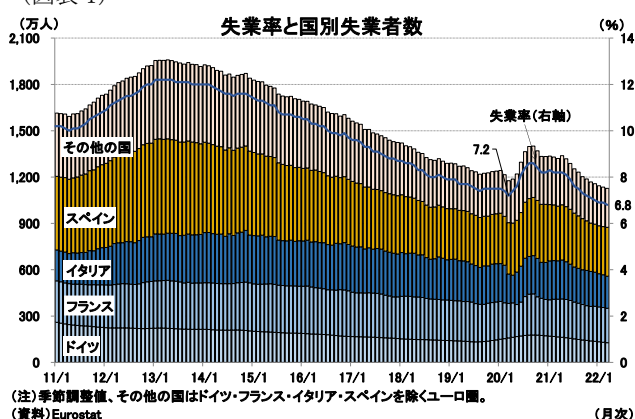
1. 結果の概要:3か月連続で失業率は6%台で

5月3日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

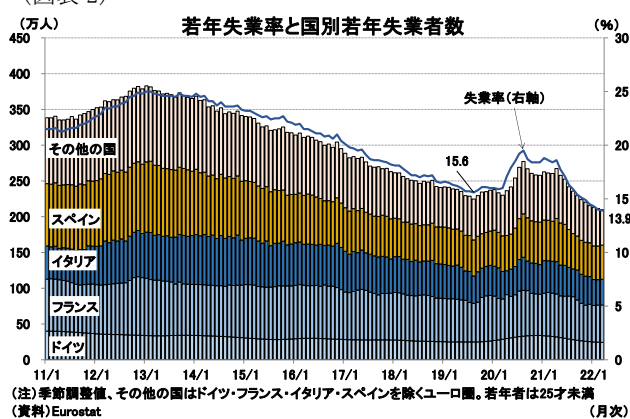
【ユーロ圏19か国失業率（2022年3月、季節調整値）】

- ・失業率は6.8%、市場予想¹（6.8%）と同じで、前月（6.9%）から減少した（図表1）
- ・失業者は1127.4万人となり、前月（1135.0万人）から7.6万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:引き続き多くの国で失業率が改善する状況

ユーロ圏の22年3月の失業率は6.8%となり、前月の6.9%から低下した。2月の失業率が6.8%から改定値で6.9%に悪化したことから、今月もデータ公表以来の最低値を更新したことになる。なお、2月以前の改定値はほとんど変更がなかった。

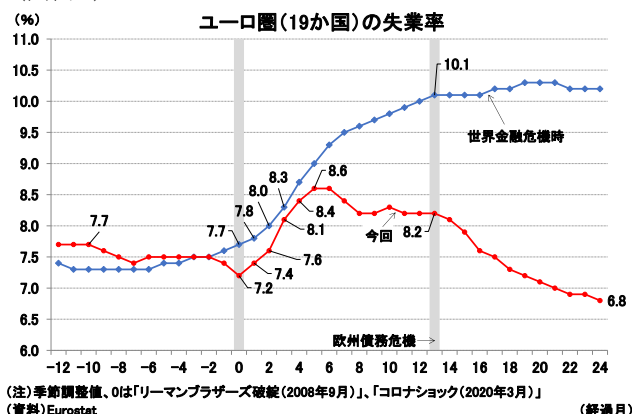
失業者数は3月の前月差で7.6万人減（2月改定値：▲9.1万人）となり、4月以降の減少数（21年5-22年2月累計）は211.0万人となった（図表3・4）。21年11月にコロナ禍前（20年3月）の水準まで減少したのち、5か月連続で失業者数は減少している。

若年失業率は、3月は13.9%となり2月（改定値は14.0%、前月公表値も14.0%で変更なし）からやや改善した（図表2）。また、若年失業率の改定値は前月公表値からほとんど変化がなかった。

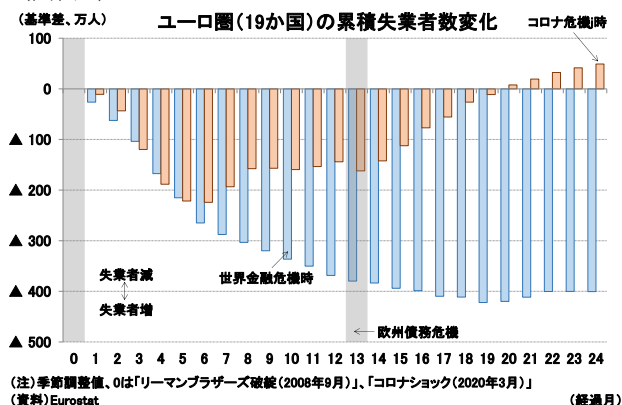
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

若年失業者数は3月で209.8万人（前月差▲1.7万人）だった。

（図表3）

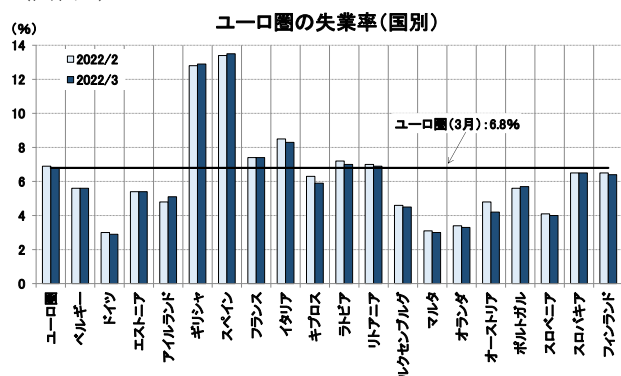


（図表4）

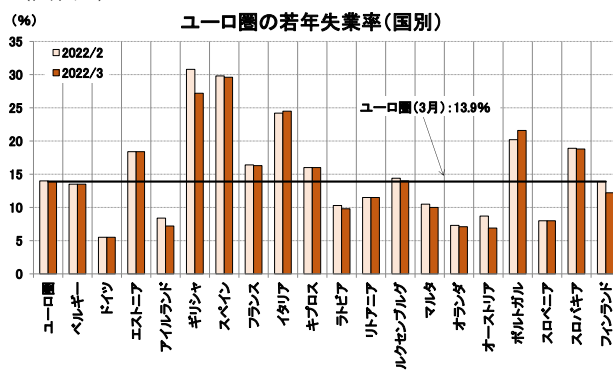


国別の3月のデータを見ると、失業率では19か国中、悪化した国が4か国、改善が11か国、横ばいが4か国だった（図表5）。若年失業率では19か国中、悪化した国が2か国、改善した国が11か国、横ばいが6か国だった（図表6）。3月の失業率・若年失業率は、改善幅こそ小さかったが、多くの国の失業率が改善に向かった。

（図表5）

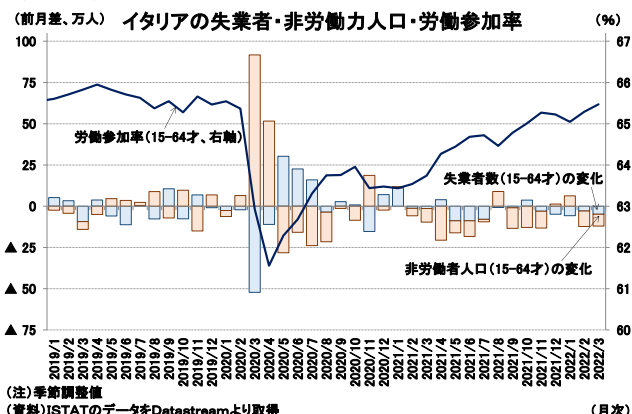


（図表6）

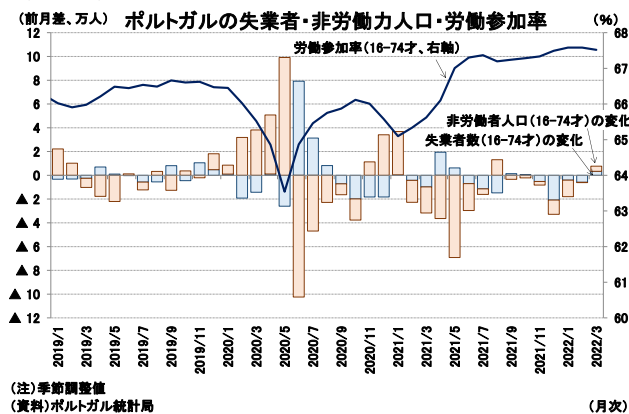


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者・非労働力人口が減少し、就業者数が増加したため労働参加率が上昇した（図表7）。労働参加率の水準はコロナ禍前程度まで回復している。一方、ポルトガルでは失業者も非労働力人口も増加、就業者数は減少している（図表8）。ポルトガルの雇用環境は良好な状況ではあるが、単月の結果としては冴えないものとなった。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。